

あなたのデータにはもっと価値があります

データは組織にとっての保証人のようなものです。これは人生での出来事のアウプットです。そしてこれは、保険の対象範囲、保護、規制順守のためのインプットとなります。

データが活用されていないことの3つの徴候

1 顧客との関係確立が困難

契約管理を中心とした旧来の業務プロセスでは、顧客との距離を縮めることはできません。保険調査員、代理店、顧客はモバイルアプリケーションや関係構築のための仕組みを欲しがっています。しかしこれを導入するには、固定的な旧来のインフラではお金がかかり作業も複雑です。また従来からの保険業界以外からの新規参入他社も、これまでにない大きな脅威となっています。

2 複雑なリスクを管理することが困難

保険会社の仕事は、リスクを管理することです。しかしデータが分断されサイロに格納されている状態ではあらゆるデータにアクセスすることはできず、この結果、リスクを正確に計算できません。これにより利益や競争力が損なわれ、また規制順守がちゃんとできるかどうか怪しくなってしまいます。

3 不正による損害

保険請求の最大20%は不正請求だと言われています。これにより利益が損なわれます。しかし不正調査は十分には行われていません。これはデータが複数のサイロに分断されているため対応が遅くなり、調査の費用もかかり、また本当に怪しい行為をリアルタイムで検知することができないためです。

このような状況では、MarkLogicがお勧めです。MarkLogicは、データサイロの統合に関して世界一のデータベースです。

「MarkLogicのアジャイル性、統合検索、エンタープライズ機能によって、最も要求の高いお客様にもグローバルなスケールで対応できます。結果として、カスタマーエクスペリエンスならびにお客様自身によるリスクプロファイルの最適化が劇的に改善されました」

Jens Blohm氏、ハノーバー再保険(北部および中央ヨーロッパ担当生命保険マネージングディレクター兼生命保険ビジネスグループCOO)

保険会社がMarkLogicを信頼する理由

データをより有効に活用するには、業務への影響を最小限に抑えながらすべてのデータを統合できるデータベースが必要です。MarkLogicのマルチモデルデータベースはこれらをすべて実現するほか、「何でもクエリ」できる検索、アラート、セマンティック、位置情報、エンタープライズ仕様の信頼性があります。

アジャイルなMarkLogic® プラットフォームは、セキュアな運用、データのライフサイクル全体における正確なレポートと分析を実現します。これにより変化（新種の不正、競業他社、規制基準）への対応が容易になります。また、これまでにない速度で革新を実現できます。



保険業界におけるMarkLogicの成功事例

トップ5の健康保険会社

米国におけるマネージドヘルスケアのリーダー企業は、MarkLogicを使って従業員データ（データソース200以上、下流システム50以上）を統合しました。このプロジェクトは1年以内で完成しています。この会社の「2020ビジョン」において、MarkLogicはコア技術として位置づけられています。このオペレーショナルデータハブアーキテクチャにより、既存のIT環境の革新が促進されています。

ハノーバー再保険

世界第3位の再保険会社であるハノーバー再保険は、MarkLogicをセキュアかつクラウドベースのリスク分析アプリケーションの基盤として使用しています。これにより長年にわたるデータと数百万件のドキュメントの全体像が確認できます。このアプリケーションはSaaSとして世界中のクライアントに提供され、顧客の期待を大きく超えることによりハノーバー再保険の競争力が高まりました。

米国保険福祉省メディケア・メディケイド・サービスセンター（CMS）

MarkLogicは新世代のデータベース技術で、Healthcare.gov（通称オバマケア）ならびにDSH（Data services Hub）のオペレーショナルデータハブとして利用されています。これはピーク時には、毎秒6500件以上の複雑なトランザクションならびに、7万人のアクティブユーザーに対応しています。MarkLogicにより、Healthcare.govを通じて1100万件以上の保険の自動再申し込みがありました。

MarkLogicはデータを最高のアセットに変えます

MarkLogicはサイロからのデータを統合する世界最高のデータプラットフォームです。これにより、保険業界のお客様は、統合されたデータの全体像（360°ビュー）をより速くより廉価に実現できます。

保険業界のリーダー企業たちがどのようにMarkLogicを利用しているのか、その実績をご確認ください。

webサイト：<http://jp.marklogic.com>

© 2017 MARKLOGIC CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED. このテクノロジーは、米国特許番号 7,127,469B2、米国特許番号 7,171,404B2、米国特許番号7,756,858 B2、米国特許番号7,962,474 B2で保護されています。MarkLogicは、米国およびその他の国におけるMarkLogic Corporationの商標または登録商標です。本書に記載されているその他の商標は、各企業の所有物です。

MARKLOGIC K.K.

150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-12-1 渋谷マークシティウエスト 22 階
+81 3 4360 5354 | jp.marklogic.com | MarkLogic-JP@marklogic.com